



サンプラテックの取組が Go-Tec 事業（成長型中小企業等 研究開発支援事業）に採択されました

サンプラテックの「myiPSの実現を可能にする、簡易閉鎖型培養システムの研究開発」計画が、令和4年度予算成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業・経済産業省）に採択されました。

当社では共同研究契約を締結する公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団（CiRAF）様と共に my iPS 細胞事業の実用化に必要なコストダウン技術の研究等に取り組んでまいります。

過去の共同研究については下記をご確認ください。
（iP-TEC リーフレット vol.3.0 より）



共同研究

簡易閉鎖型培養装置による iPS細胞の培養

【第20回日本再生医療学会総会】において、公益財団法人 京都大学iPS細胞研究財団（略称：CiRAF）様から、当社との共同研究に関わるポスター発表がありました。

坂野 香穂 桑原 順一 梅景 雅史 塚原 正義

*公益財団法人 京都大学iPS細胞研究財団HP
<https://www.cira-foundation.or.jp/j/research-ja/publication.html>

再生医療に用いる細胞製造のコストダウンを達成するためには、大規模な製造設備を必要としない、小型の閉鎖系自動培養装置の開発が非常に重要です。本発表は、その設計およびプロセスを構築するための第一段階として、簡易型の培養装置を試作し、iPS細胞の培養を行った結果を報告するものです。
（写真・文：京都大学iPS細胞研究財団HPより）



公益財団法人 京都大学iPS細胞研究財団について

再生医療用iPS細胞の製造や品質評価などの技術を産業界へと「橋渡し」する機能を担うため、京都大学iPS細胞研究所（CiRA）から一部機能を分離する形で2019年9月に設立。2020年4月1日に内閣府からの公益認定を受けた後、正式に「公益財団法人」として活動を開始。現在、「iPS細胞ストックプロジェクト」「my iPSプロジェクト」等の取り組みをされています。



今後も、京都大学iPS細胞研究財団様との共同研究を継続し、「最適なiPS細胞技術を、良心的な価格で届ける」という財団の理念実現に向け、小型でシンプルな閉鎖系培養装置・容器の研究開発を進めて参ります。どうぞご期待ください！

